

成人向

御

魂

祭

Ⅳ



御

魂

祭

III







なら、この辺りで止め
にした方がいい



シロ

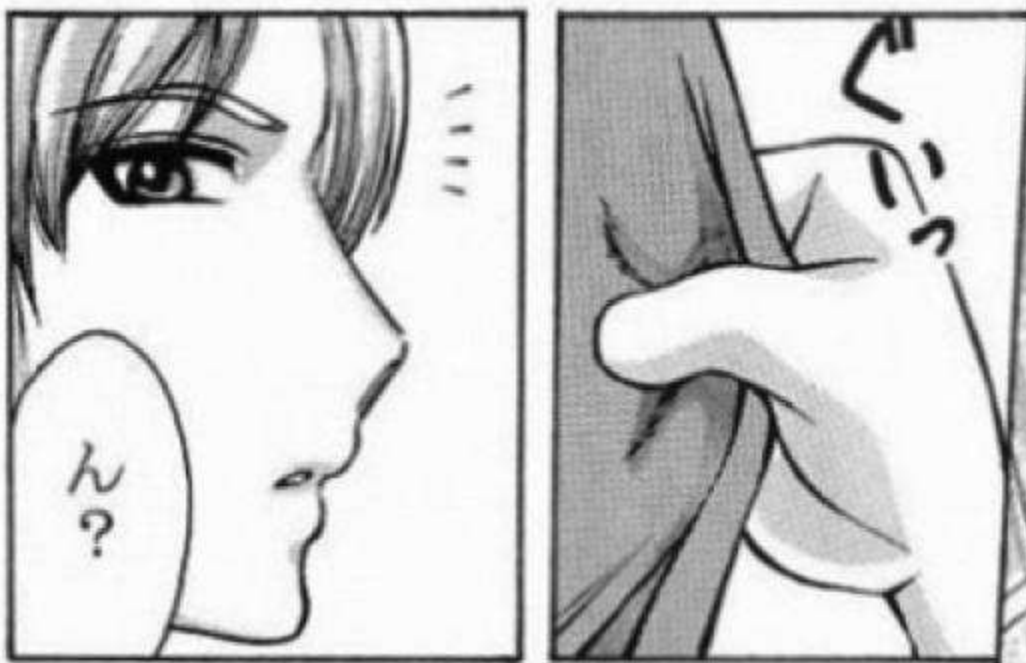


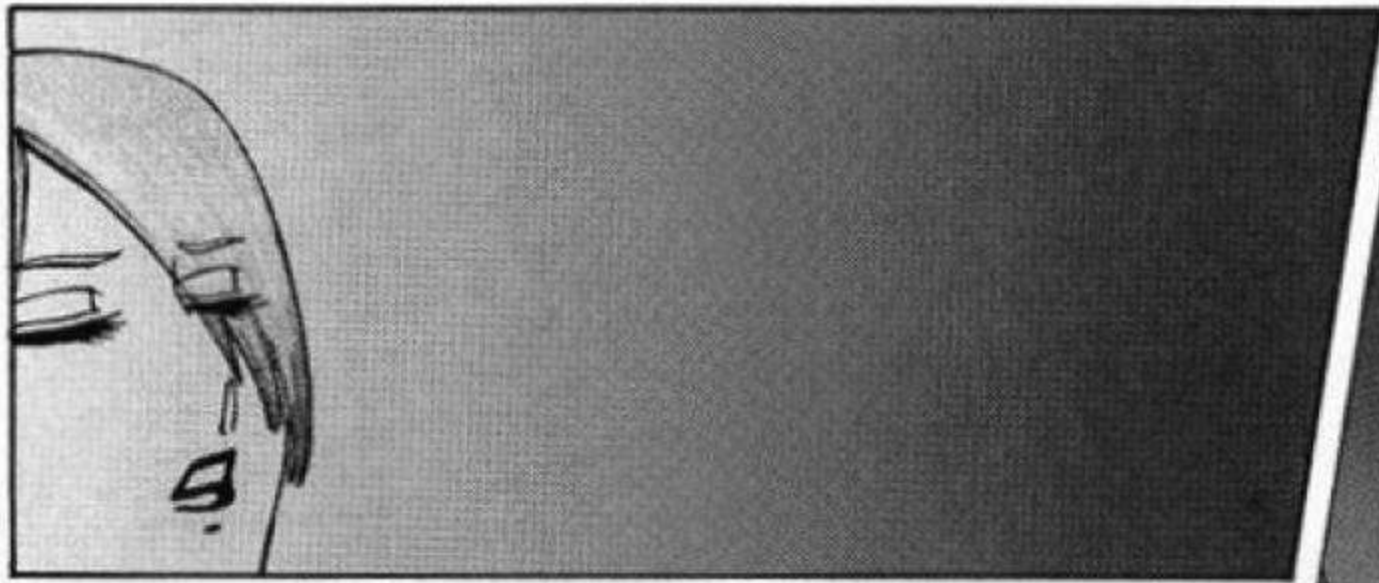


はーん

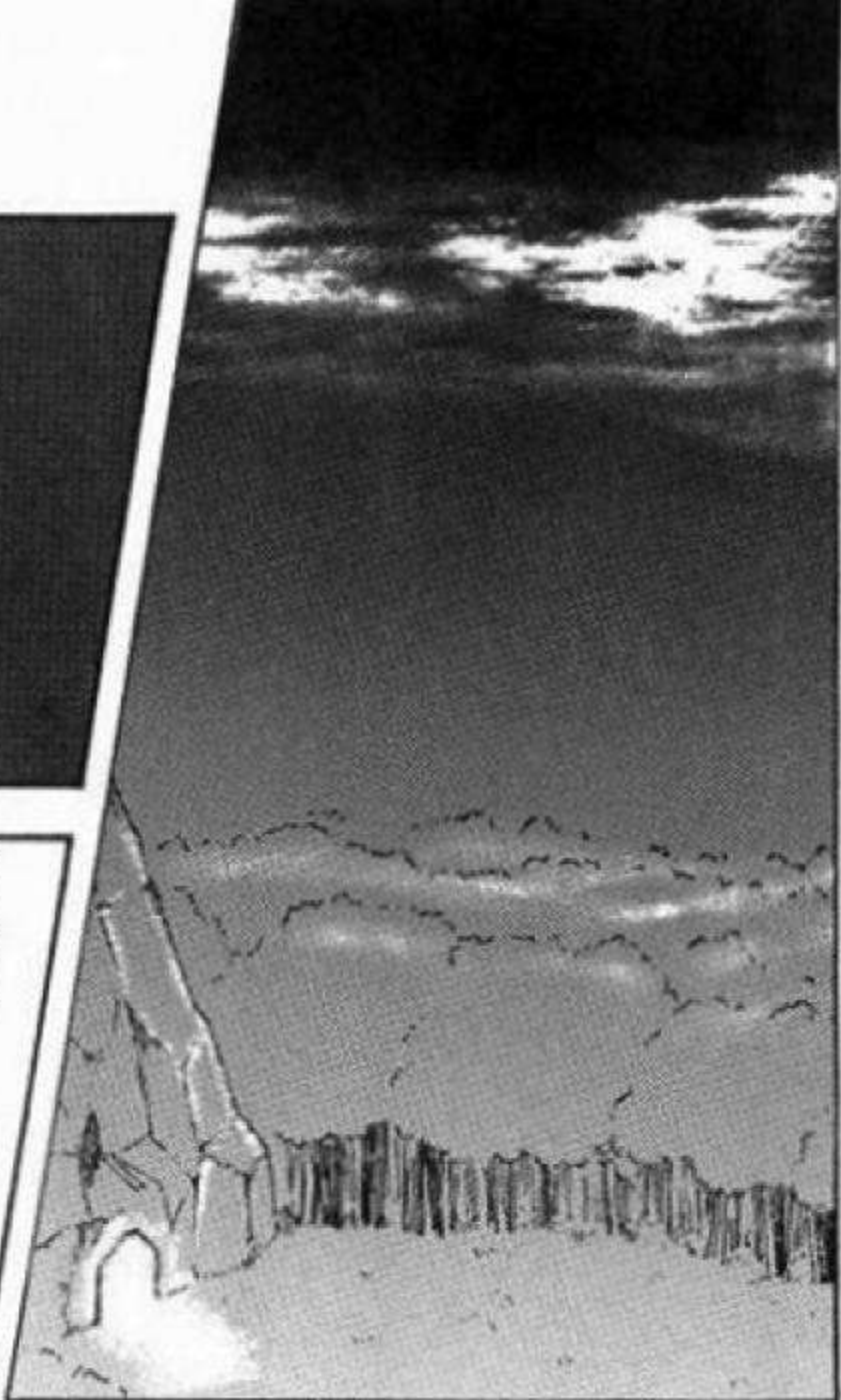


はーん





パキ...
パキ...



これは...

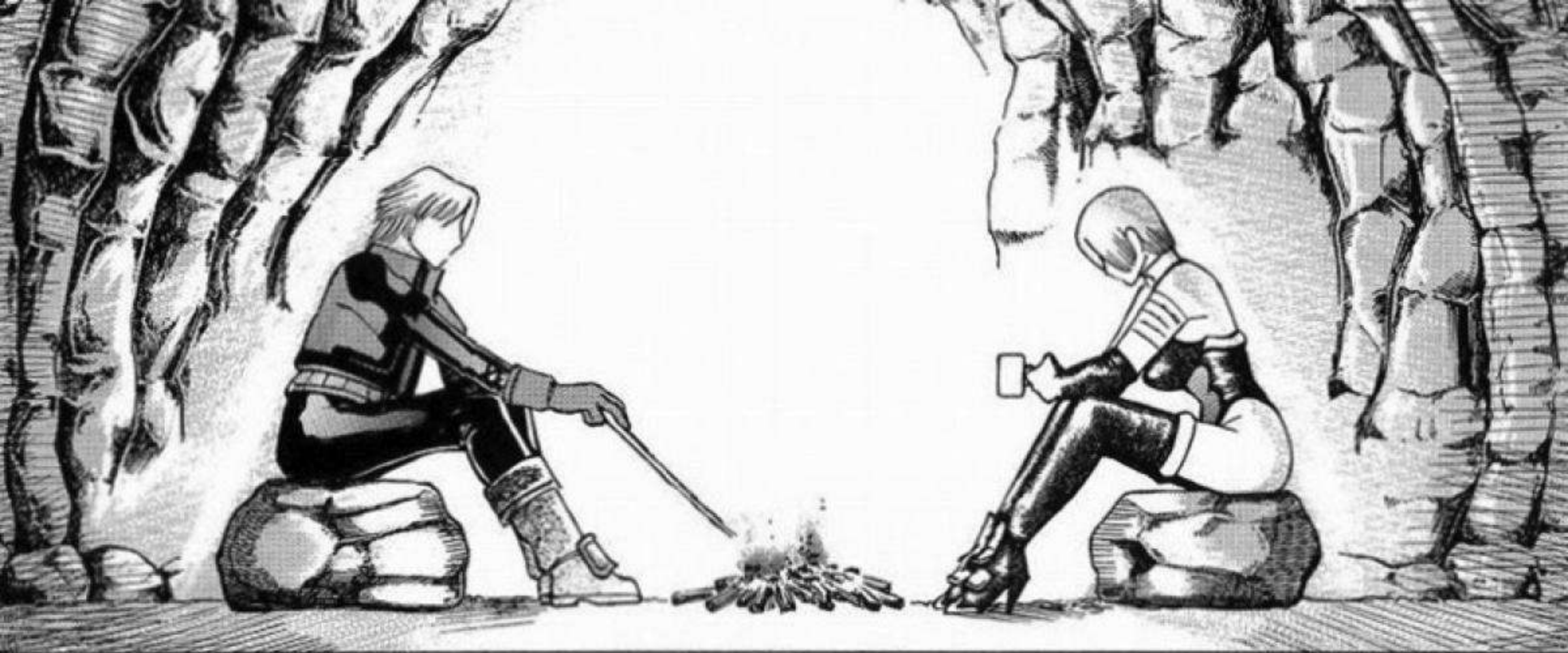


気がついたか？

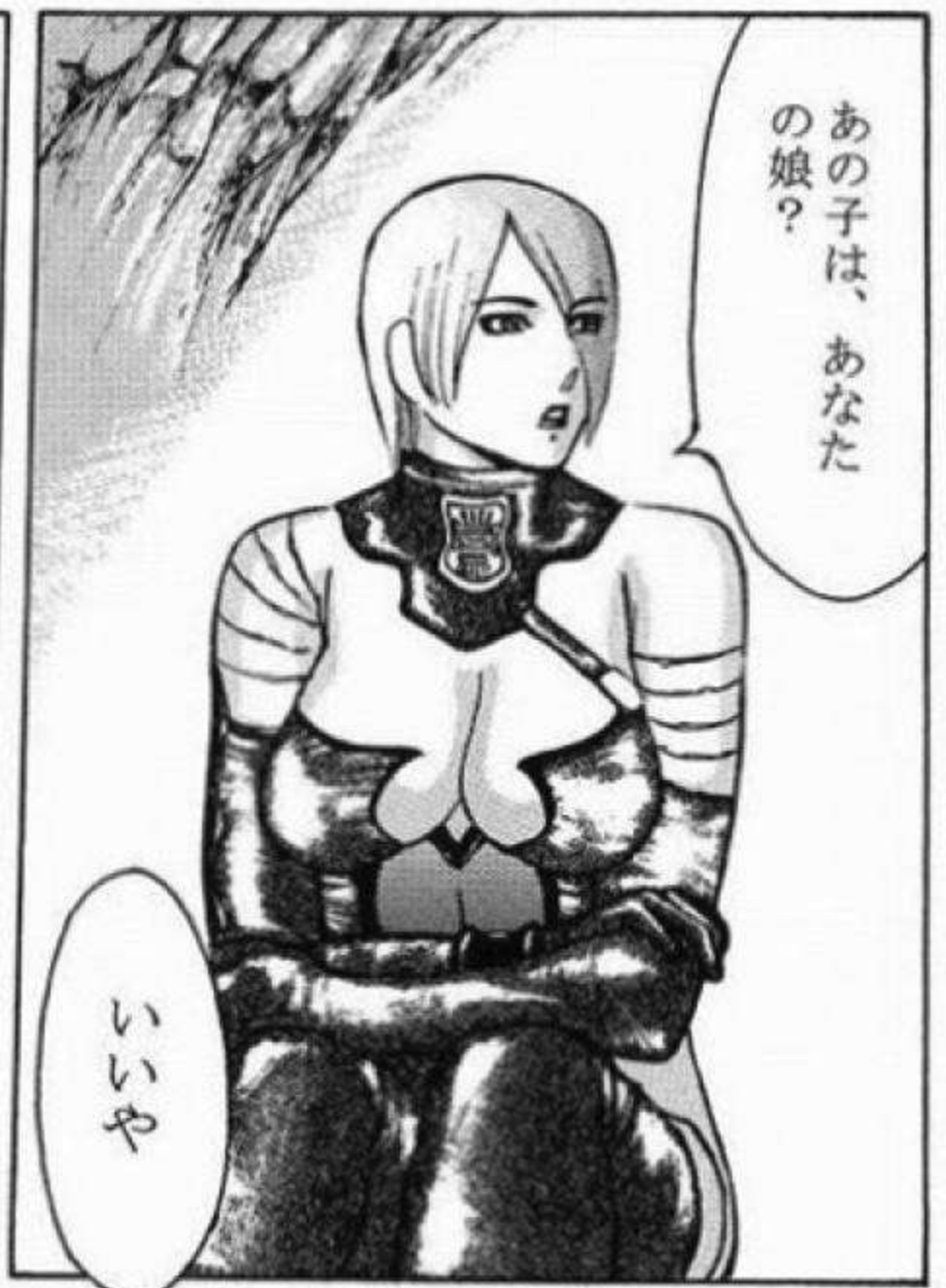


具合は
どうだ？





縁もゆかりもない
赤の他人さ



あの子は、あなた
の娘？

い
い
や



だが、今の私には
何よりも大切な
存在だ



それでは、
妹…

どちらでも
ない



どうしてそう
思う？

なるほど……

あなたがソウル
エッジを追うのは
彼女のためね？



あなたが
うらやましいわ……



今まで闘ってきた
相手は皆、自分の
信じるもののために
闘っていたわ



私には、信じ
られる物など
何もない……

そうでは
なからう



あなたが信じているのは
あの子だけのよう
に
思えたから



それが目に見えるか
見えないかの違いに
すぎん

あんたの言葉を借りる
なら、あんたは既に何か
を信じている

え？



全くだ。私も
柄になくじよう舌
になっっていたらしい

だってそうでしょう？
さっきまで命のやりとり
をしていた相手と
こんな話するなんて…



ありがとう…



ひょっとして、
あの子はこう
なることに
気付いていた
のだろうか？



フ、フフフツ

どうした？
何がおかしい？







いい体だ...

あつ...

ああつ

はあつ

あつ

ずい分、感じ
やすいんだな...

あつ...
あつ

あつ...
あつ

あつ...
あつ

あつ...
あつ



誰でもって
わけには



はあ…

あなたから出る
オスの匂いのせいよ



いかないわ…

ゴクッ
ゴクッ



だから、あなたも
今は…

ズキッ

ズキッ

獣になって…



そ、そうよ
あつ…

私は今、メスの
獣なの…

なるほど、発情した
獣の匂いか…







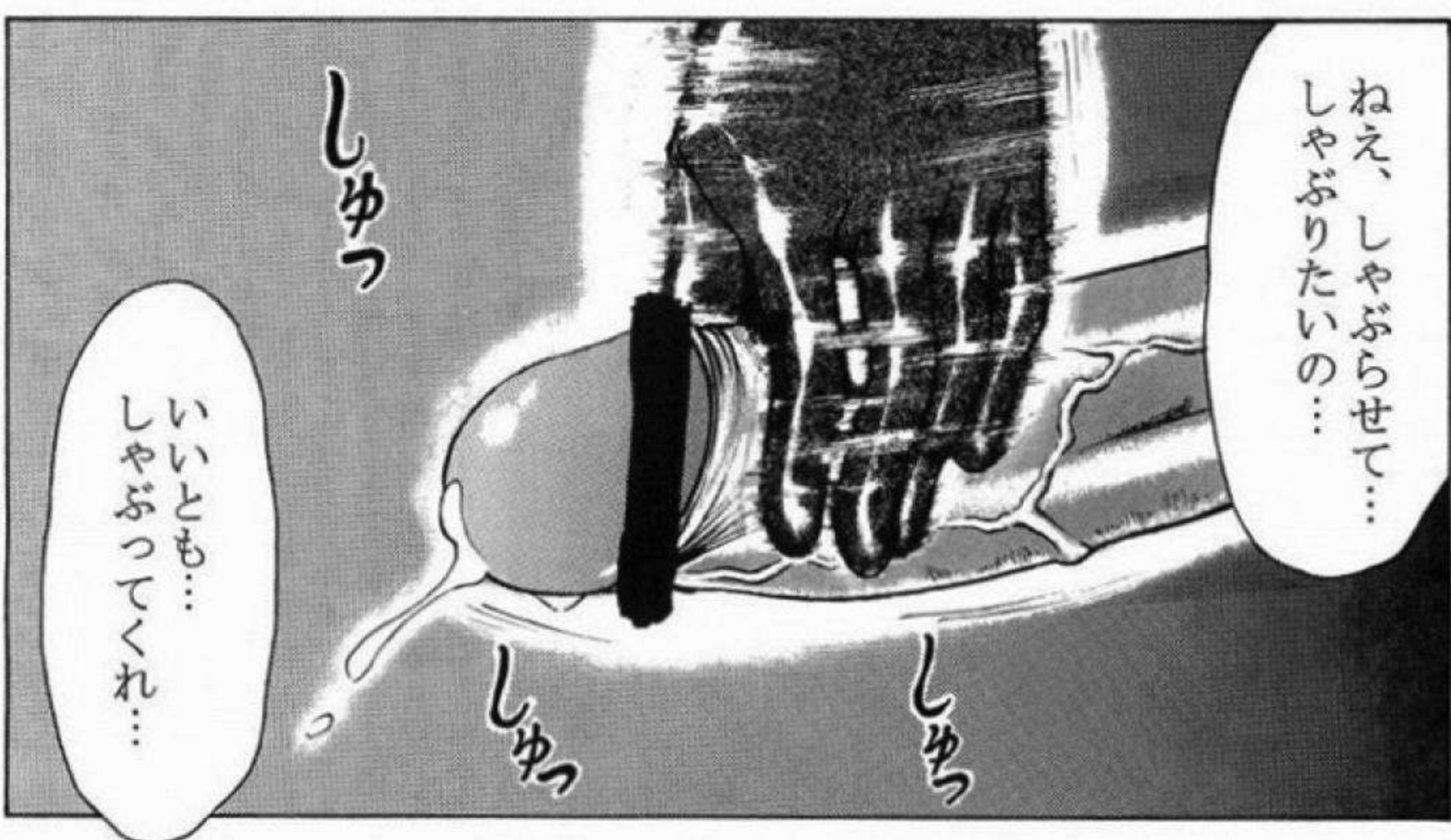
すごいわ、こんなに
かたく…熱く
なってるなんて…



もちろんだ、
その証拠に…



うれしい…

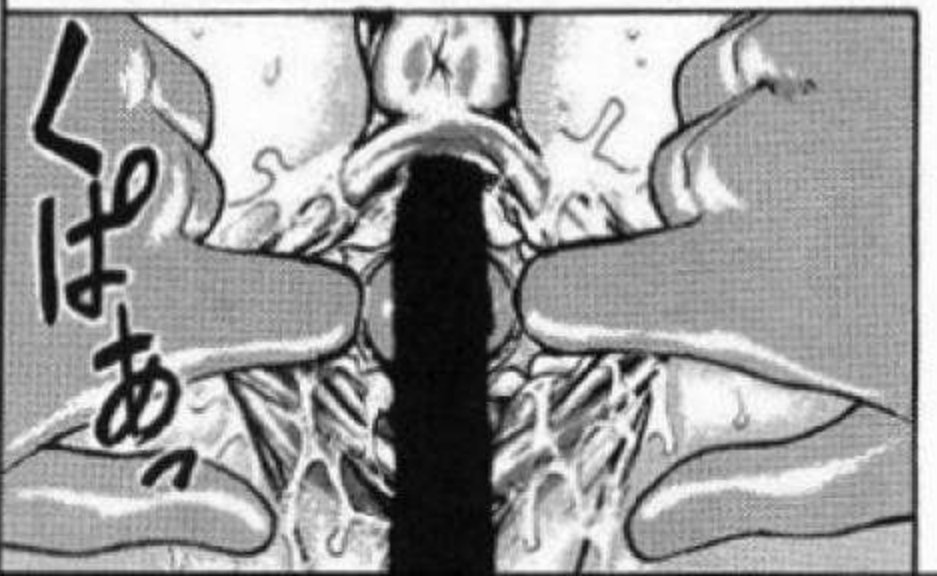
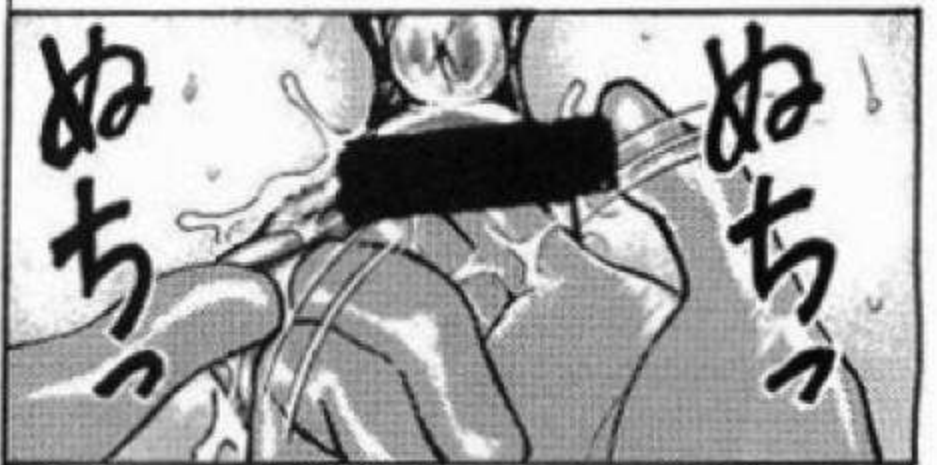
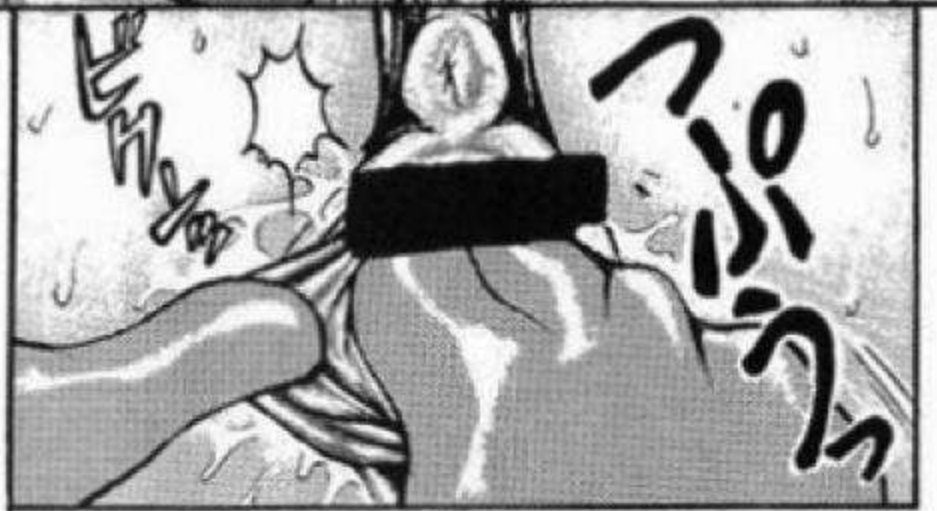


ねえ、しゃぶらせて…
しゃぶりたいの…

いいとせ…
しゃぶってくれ…









なら、こっちも
容赦しないわ…♡



もお…

何においても
容赦のない
人なのね…

はあ
はあ



うっ



はっ♡

はあ♡

は♡



んっ♡

んん♡



あっ♡

あん♡



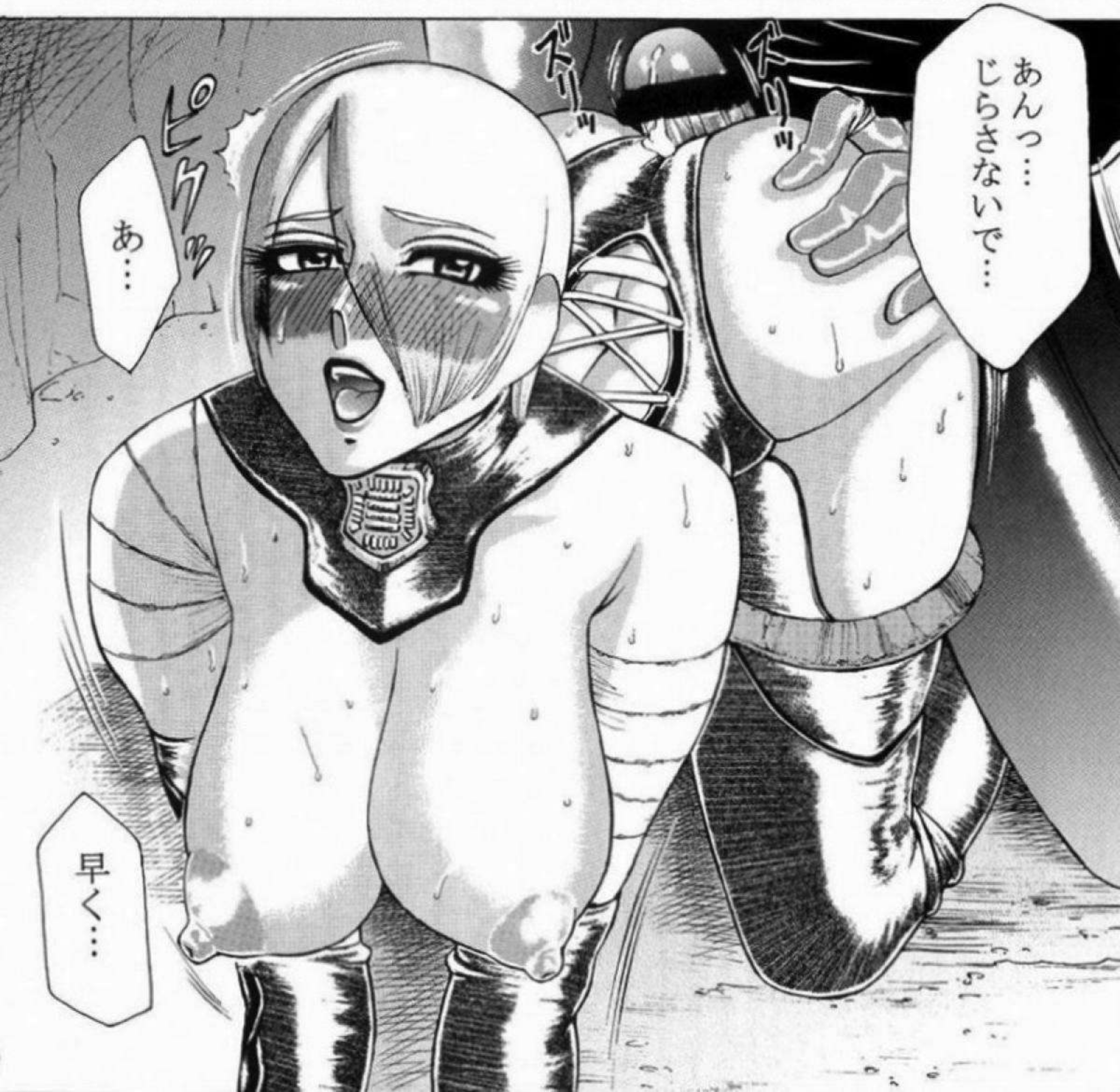
うむ...

バニ
バニ



も、もう我慢でき
ないわ、入れて...

ミダミ
ミダミ



あんっ...
じらさないで...

ズー
ズー

あ...

早く...



ズググ

くっ...

!!!

ヒュー

ヒュー



はあ、はあ

いいわ
動いて...



さげちやいぞう...

ニキツ...

ヒュー

ニキツ...

ああ、太いわ...

ヒュー





本当？
うれしいわ…

あんっ

アキヤッ

アキヤッ

ゴニストッ



あんたの方こそ
すごいしめつけだ…



三千ッ

三千…

これほど具合のいい
穴には、お目にかかった
ことがない…



ん…

キヌッ…



ふんっ…

ねえ、もっと
激しく突いて…



はあっ

アキヤッ

アキヤッ

はあ



グ...

グ...

グ...

グ...

ぷはあっ

あっ

ううっ

ううん

はあああっ

んああっ!!

もっと…
突き刺してっ

奥の
奥まで…

ずるるる

チキ

チキ

チキ

ブルブル

ブルブル

はっ

はっ

はっ







はっ♡

はっ♡

はあ♡

あ♡

はあ♡

はん♡

はん♡

はっ♡

んはあああ!!







あんたの体…
最高だぞ…

あなたも…
素敵だわ…

お望みとあらば
もう一汗かいて
みるか？

あん…

あ…また中で
大きくなってきた…

ふふふ…

是非、お願い

したいわ…



はっはっはっ

ブレン

ブレン

はっはっはっ

あっ！



ギン

ギン

うん



ギン

んあ

あん

ちゅぽっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ



あっああ

ギン

ギン

ギン

ももっと
突いてえっ

闘いの日々の中で

私の心に侵食してくる



たどえようもない

喪失感と虚無感



自分が生きているのか

死んでいるのかもわからない



まるで時空の狭間の
深い闇に浮いているような
そんな不安と孤独



そんな時、私はあなたの
ような男に抱かれて、
貫かれるの



そして、私の中の女を
呼び覚まして



あなたは気付いて
いたのでしょぅ？



私は生きている実感を
いつもぶすのよ

だから、何も聞かずに
私を抱いてくれたのよね？



ガガガ

うわ

ガガガ

うわ

ガガガ

うわー

ああんっ

うわ

ズキユッ

ズキユッ



ガガガ

ぐー

うわ

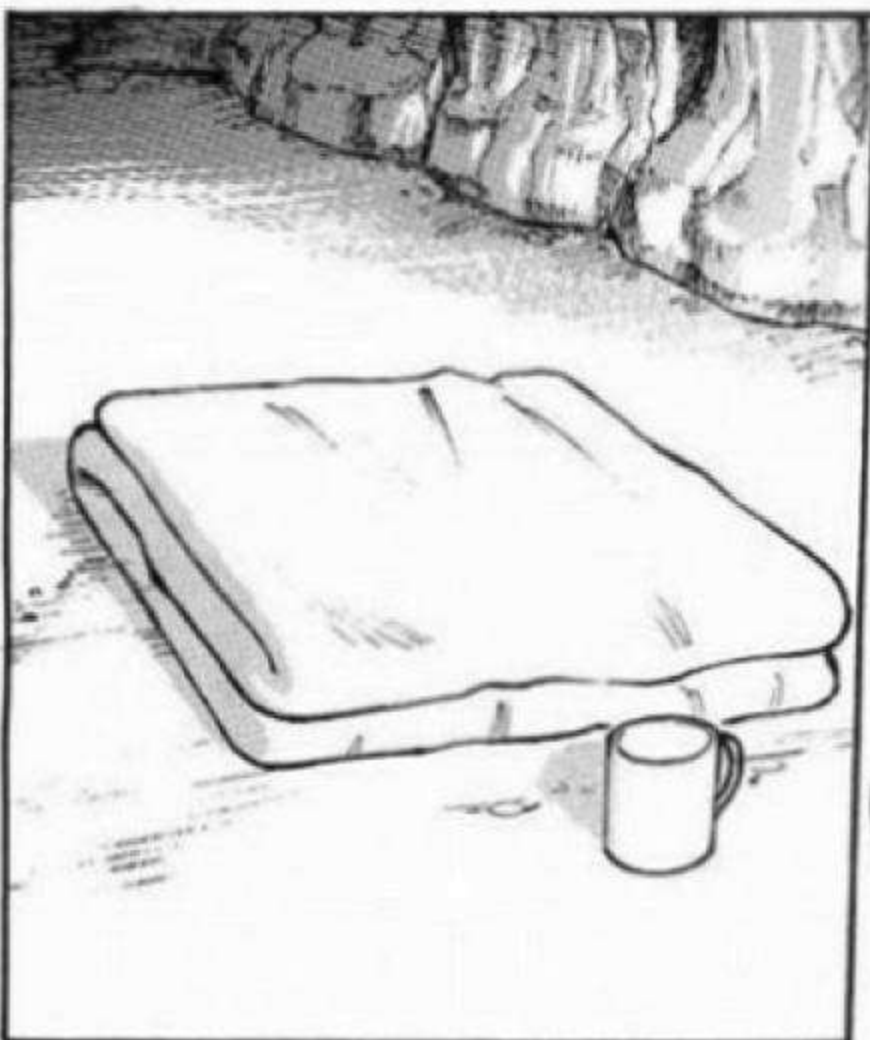
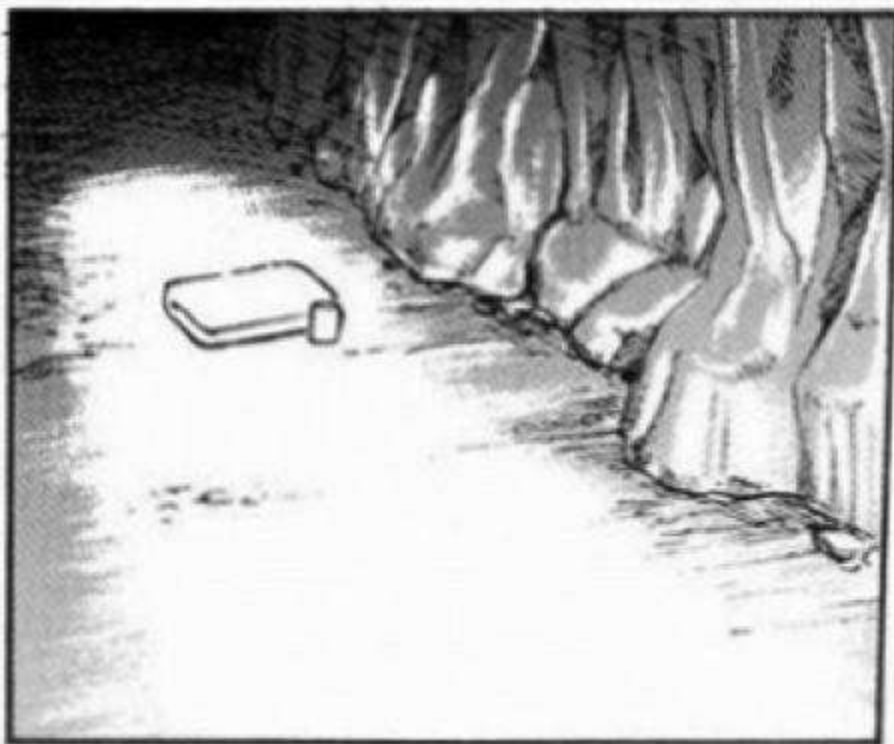
ガガ

ガガ
ガガ
ガガ

ああんっ、いくつ
いくわあ

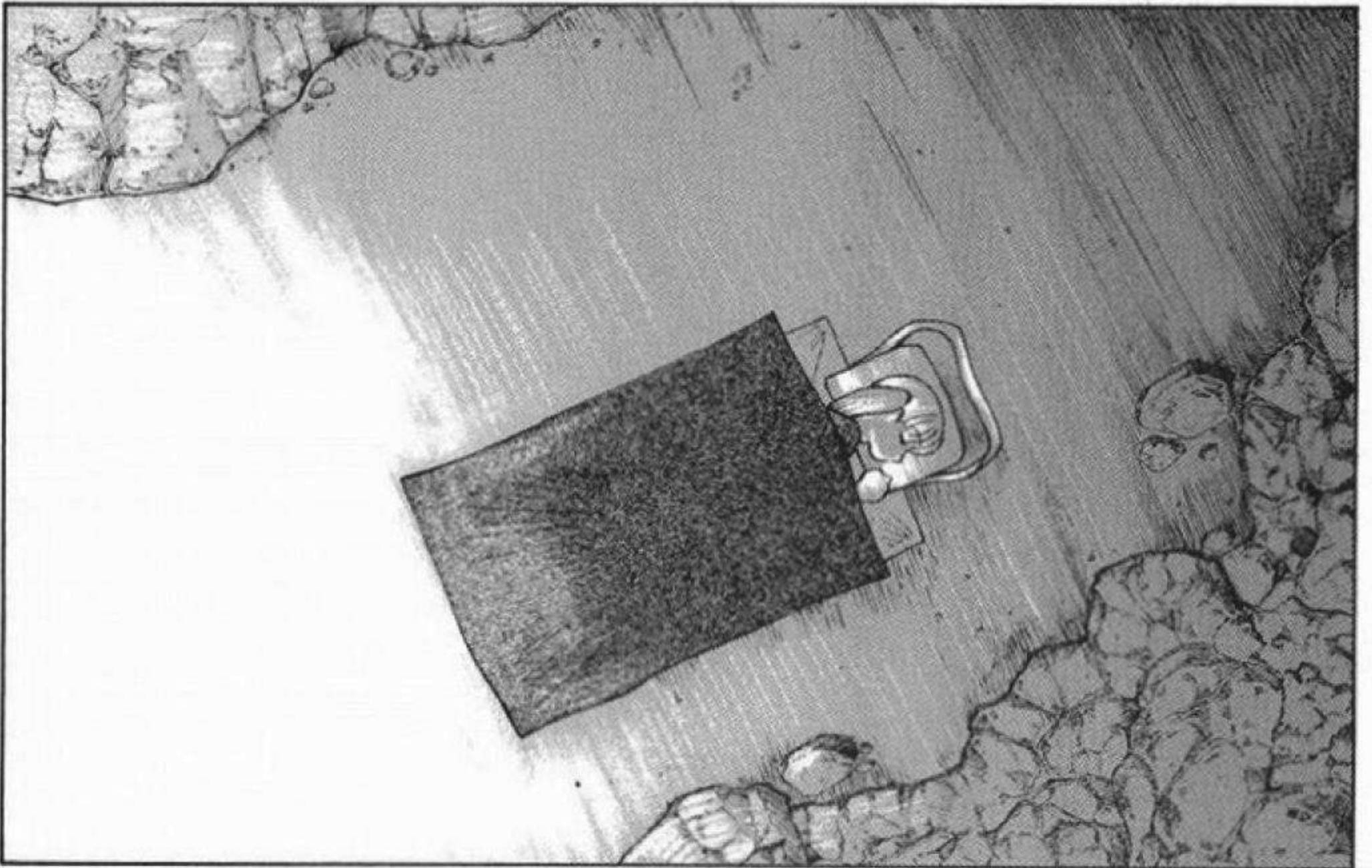


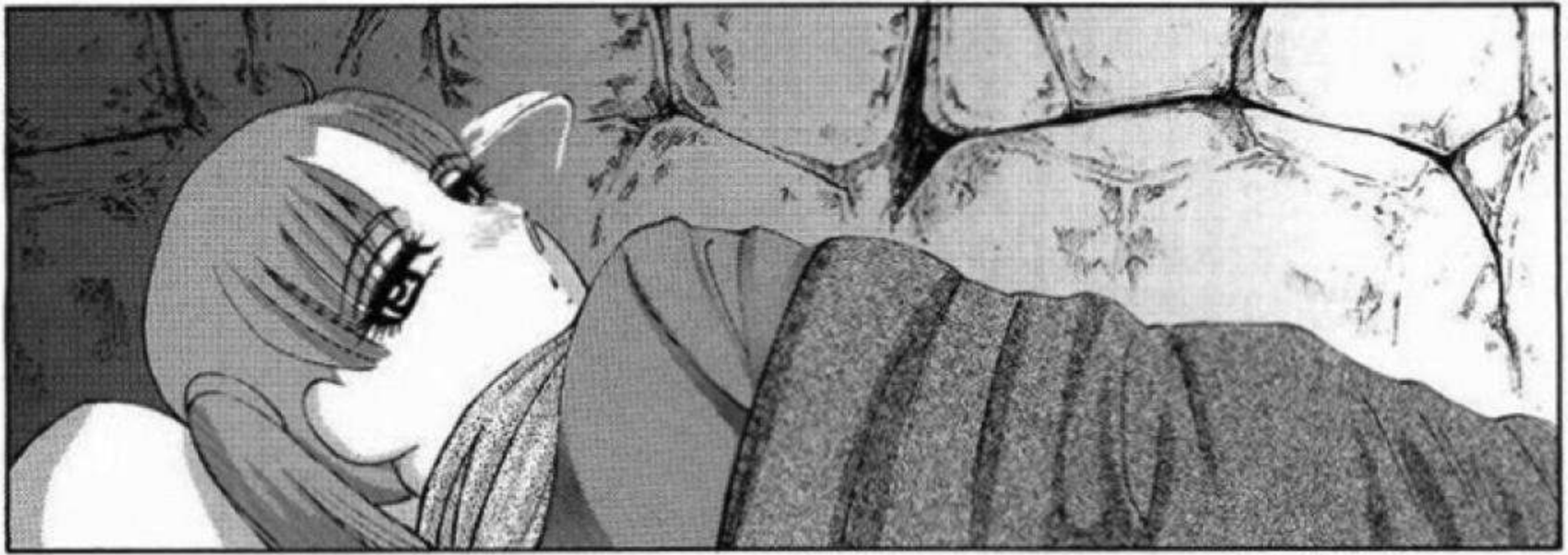






挿話







!!!

!!!

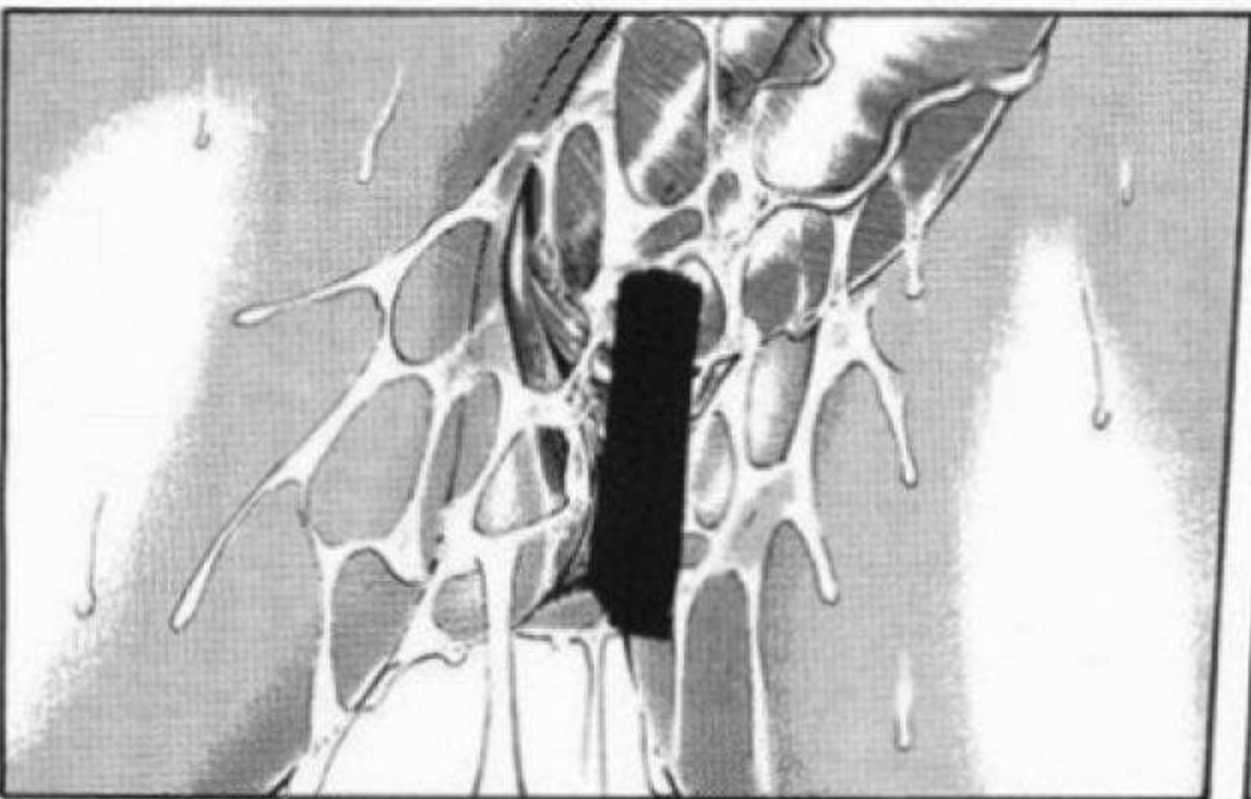
!!

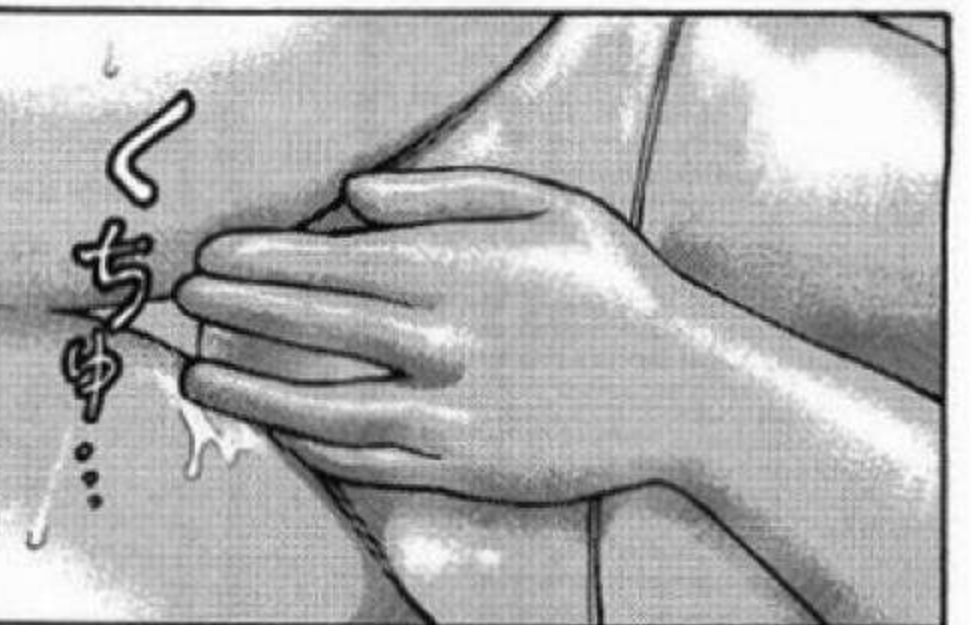
あッ

あッ

あッ







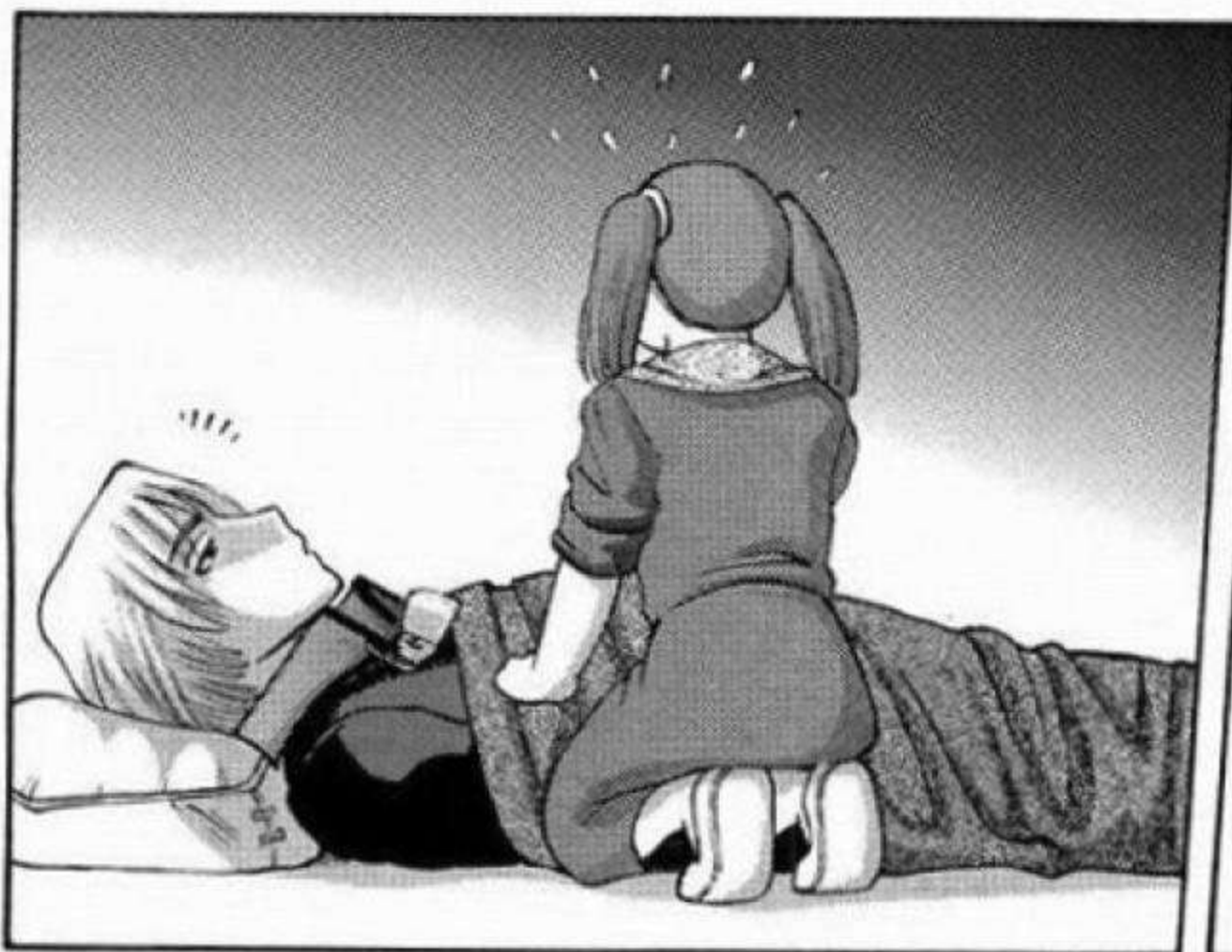
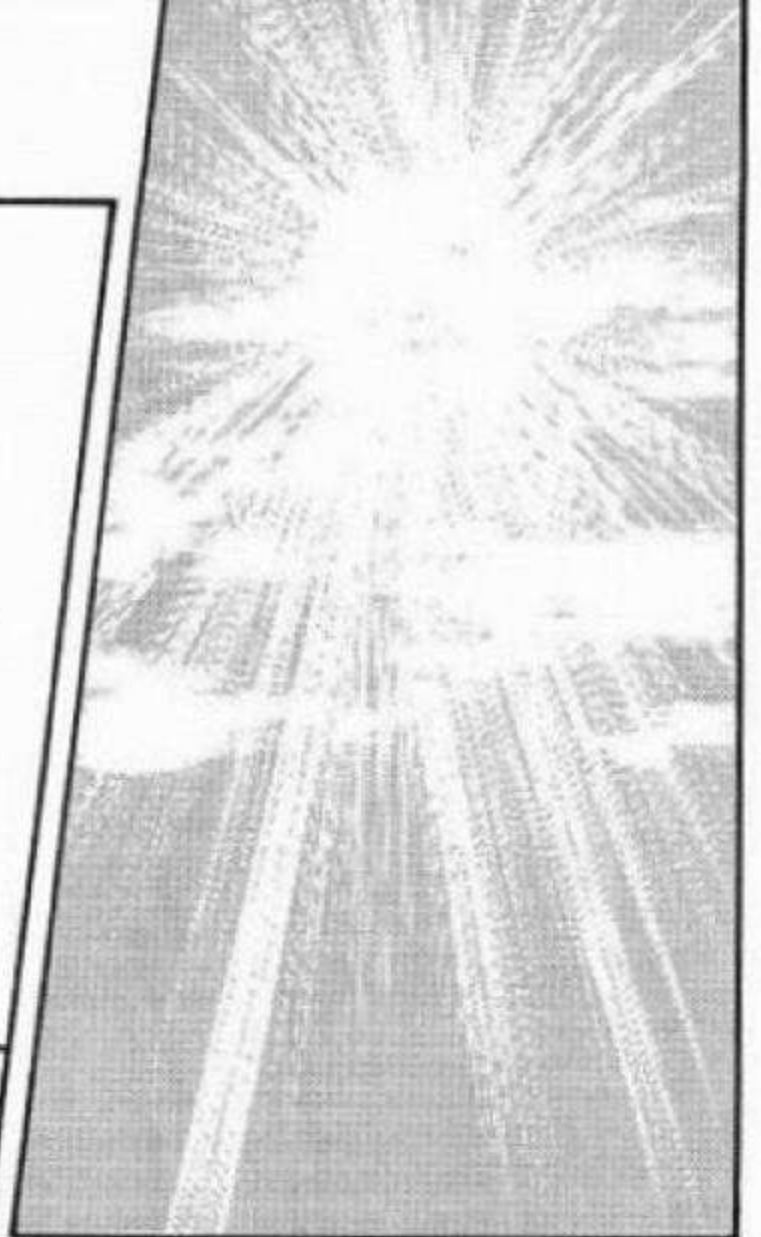














いずれ、ソウルエッジが
あの女と我々を再び
引き合わせるだろう



さあ、我々も
いこう…



バイバイ…

あとがき

この度は、「御魂祭Ⅲ」完全版をお買い上げ下さり誠に有難うございます。また、パイロット版を買って下さった方は、大変お待たせしました。作者の菊水捷一でございます。

当初は、本来載せる予定だったもう一本の漫画を完成させるだけの予定でしたが、進めていくうちに、あれもこれもと欲張っているうちに、ひと月過ぎふた月過ぎ、気がつけば冬になっておりました……。相変わらずの計画性の無さです……。

本当はもう一冊同時進行で進めていたのですがどっちつかずになる可能性が高くなり、やむをえず、今回は持ち越しとなりました。大変申し訳ありませんが、来春には発表いたしますのでどうか今しばらくのご猶予を……。

最後にこの本の完成に手を貸して下さった

かぺり様 *ruined* 様 *nonsuch* 様
みっしー様 しまじろう様 コーラさん様
ジョニー様

各氏に厚く御礼申し上げます。

それでは、春にお会いしましょう。

平成16年12月 菊水捷一

奥付

発行責任者：菊水捷一

発行元：菊水庵

印刷所：コーシン出版様

発行日：平成16年12月

本作品へのご意見、ご感想はこちらへ

kikusui@xa3.so-net.ne.jp

※本作品の無断転用並びに無断転載はおやめください

菊水庵

製謹